

いつも市民の目線で!!

“山さんのホームページ”

www.k-yamasan.com

寝屋川市議会議員

山崎 きくお



平成21年5月号 (第71号)

新たな会派に所属し 2期目の折り返し

私が平成一五年四月の市議会議員選挙で初当選をさせていたから丸6年が経ちました。

そして今、私たち議員にとって、ちょうど任期(4年間)の折り返しの時期となりました。

私は、昨年一〇月からこの会派にも所属せず、一人会派(無所属)で活動してきましたが、今年四月から『新風ねやがわ議員団(8人)』に加入して活動することになりました。

多くの動きに感謝

この間、たくさんの方から「議会は数の世界だ」「一人では活動に限界がある」できれば大きな会派に

入って、市職員や自治会長などの経験を生かして、もっと幅の広い議員活動をしてほしい」などのアドバイスを励ましの声をいただきました。

会派メンバーの理解を

また私自身も、できれば大きな会派に入り、市民の皆さんの声を政策として実現できるような幅の広い議員活動をしたいと思い、これまで「新風ねやがわ議員団」に加入を打診してきました。そして、四月初めに会派

メンバーの皆さんの理解を得て、私の会派加入が実現したものです。

政策の実現に努力

私たち議員の主な仕事は、①市政が適正に運営されているかチェックすること、②市民の皆さんの声を市政に届け、政策として実現することです。

これからも、市民の皆さんの声が少しでも市の政

策として実現できるように努力してまいります。

五月二十二日・若葉町公民館で

「市政報告会」を開催予定

五月二十二日(金)午後七時三〇分から、若葉町公民館で「第三四回・山さんのミニ市政報告会」を開催します。

今回は、五月臨時市議会の内容を中心に、最近の寝屋川市や市議会の状況などを報告させていただきます。

また、市の都市再開発事業室の協力をいただいで、いま寝屋川市が取り組んでいる寝屋川市駅東地区再開発事業や香里園駅東地区再開発事業の内容をわかり易く説明していただく予定です。どなたでも、どうぞお気軽にご参加下さい。



これから「市民の目線」で頑張ります!

大きな声で、元気なあいさつ!!
山さんのあいさつ運動

寝屋川市議会議員 山崎 きくお 事務所

〒572-0031 寝屋川市若葉町34番10号

TEL. 072-829-1900 E-mail. genkina@k-yamasan.com

保育所問題を考える

①

本年二月に寝屋川市立保育所の民営化保育所選定委員会から検討結果の「報告書」が市長に提出されました。

報告書の主な内容

この報告書によると、

① 昨年十二月に市が策定した「市立保育所コミセンエリア構想（各コミセンエリアごと）に一カ所ずつ市立保育所を残す」に基づき、存続させる保育所は

- ▽さざんか保育所（西北エリア）
- ▽さつき保育所（東北エリア）
- ▽たんぼぼ保育所（東エリア）
- ▽コスモス保育所（西エリア）
- ▽あざみ保育所（南エリア）
- ▽さくら保育所（西南エリア）の6カ所とする。
- ② 平成二十二年度に民営化する保育所は
- ▼なでしこ保育所（東北エリア）
- ▼たちばな保育所（南エリア）の2カ所とする。

③ 平成二十三年度に民営化する保育所は

- ▼しらゆり保育所（南エリア）
- ▼すずらん保育所（西南エリア）の2カ所とする。

保護者説明会を開催

民営化の方針が決定した4カ所については、4月から随時保護者説明会を開催してお

トピックス

吉羽議員がTV出演で寝屋川市をアピール

寝屋川市議会の吉羽美華議員（新生ねクラブ）が、四月二七日（月）午後八時から放送されたテレビ朝日のクイズ番組『Qさま！』に出演して話題になっています。吉羽議員は、番組の中で司会者から「こんな番組に出ても大丈夫ですか」と質問されると「寝屋川市がア

ピールできるのならば」とさらっと受け流すなどタレント顔負けの堂々たるもので、とても好感が持てました。クイズの方は、残念ながらハワイ旅行を逃したものの、本人の美貌と才女ぶりを遺憾なく発揮し、寝屋川市のイメージアップにも大いに貢献できたと評価できそうです。

他の3カ所について

今回の報告書に名前が出なかつた

- すみれ保育所（西エリア）
- ひなぎく保育所（南エリア）
- もくれん保育所（西南エリア）の3カ所については、本年度以降に色々な観点から検討する予定といわれる。

り、本年六月定例市議会に「寝屋川市保育所設置条例の一部改正案」を上程する予定とのこと。

今月で満六〇歳！

山さんのコラム

私は五月十二日で満六〇歳（還暦）を迎える。自分ではもつと若い気持ちで生活しているが、「還暦」と言われると何だか複雑な気持ちである。

そう言えば、かつて若い頃六〇歳と言えはすぐ老人に見えていたことを思い出す。いま自分がその歳に達したと言われても、自分では信じ難い思いである。

しかし現実には、髪が薄くなり、白髪も増えてきた。記憶力や体力の衰えを感じることも多くなった。若い人たちの目には、やはり歳相応に映っているのかも知れない。

私の父親は一〇年前に八三歳で、母親は一昨年八八歳でそれぞれ他界した。

今このように幸せな生活を送れるのは、この世に命をいただき、育てていただいた両親のお陰である。

満六〇歳の誕生日にあたり、両親に心から感謝したい。